



本件の情報解禁は令和6年7月27日(土)13:00です。

横浜みなとみらいホール 「プロデューサー in レジデンス」

第3代プロデューサーにヴァイオリニスト・石田泰尚^{いしだやすなお}氏の就任が決定!



©Norizumi Kitada Universal Music

横浜みなとみらいホール（横浜市西区）は、「プロデューサー in レジデンス」の第3代プロデューサー（2025-2026年度/2025年4月1日より）に、ヴァイオリニストの石田泰尚氏をお迎えします。

「プロデューサー in レジデンス」は、横浜みなとみらいホールが2021年度より取り組む独自の事業です。レジデンス・プロデューサーとなる演奏家とホールが企画制作から連携することで、企画性の高い事業の提供を目指すものです。

気鋭のヴァイオリニスト 石田泰尚氏と共に、横浜発のオリジナルの事業をお届けしてまいります。

■石田氏就任のねらい

全国区で絶大な人気を誇り、演奏家からの信頼も厚い石田泰尚氏は、2001年に神奈川フィルハーモニー管弦楽団のソロ・コンサートマスターに就任（現・首席ソロ・コンサートマスター）、2014年に弦楽アンサンブル「石田組」の旗揚げ公演を横浜みなとみらいホールで行うなど、横浜の地域性、そして当ホールの響きや特徴を最も理解するアーティストと言っても過言ではありません。

こうした背景を鑑み、横浜みなとみらいホールでは、石田氏と共に、地域に根ざした創造性豊かな事業を制作し、地域の文化拠点としての役割を果たしていきたいと考えます。

■事業概要

目的 演奏家がホールと連携し、企画制作から実施までに携わることで、自身のプロデュース力を高めるとともに、ホールが制作するコンテンツの創造性を高める。

配置期間 2か年（期間：2025年4月～2027年3月）

人材 国内外から高い評価を受ける日本人ソリスト

就任アーティスト 石田泰尚（いしだ・やすなお）

名称：横浜みなとみらいホール プロデューサー 2025-2027

※当事業の取材・情報掲載をお願い申し上げます。情報掲載の際はお手数ですが事前にご一報ください。

このプレスリリースに関するお問合せ ※本日は17:15まで在席しております。

横浜みなとみらいホール（公益財団法人 横浜市芸術文化振興財団）

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6 ☎代表：045(682)2020(9:00-18:00) 広報直通：045(682)2025 pr_mmh@yaf.or.jp

広報担当：藤井聡子、飯島玲名、松本 董 事業担当：菊地健一

（裏面に続く）

石田泰尚氏より就任にあたって

横浜みなとみらいホールの開館が1998年、僕が神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターに就任したのが2001年ですので、ほぼホールの歴史と共に歩んできました。神奈川フィルのコンサート以外にも石田組の旗揚げ(2014年)、ベートーヴェンのヴァイオリン・ソナタ全曲演奏会(2018年)、ピアノ・トリオ全曲演奏会(2020年)、コロナ禍のバーチャルコンサート(「横浜WEBステージ」/2020年)などチャレンジングな場を与えてくれたホール関係者の方々には感謝しかありません。昨年50歳となり演奏家のキャリア的には振り返り地点を過ぎました。今度はお世話になった方々に恩返しをする番だと思い今回の大役をお受けしました。

まず取り組みたいのは若い人たちの育成です。それもプロの演奏家を目指すような人たちではなく一般の中学・高校の弦楽合奏部、オーケストラ部を対象にしたクリニックを実施し、音楽の楽しさを知ってもらいたいと思います。

もう1つは石田組の組員をフィーチャーした企画です。石田組は今年結成10周年を迎え、毎回本当に素晴らしいプレイヤーが集まってくれています。組員たちをもっと知ってもらうためのリサイタルシリーズなどが出来ればと思います。

そしてこれは実現できるかどうかわかりませんが指揮者、メンバー、プログラムなど全て自分で選んだオーケストラコンサートを開催出来ればと思います。もちろんコンサートマスターは僕です。

横浜みなとみらいホールは音響だけでなくロケーションも最高でアフターコンサートも楽しめる場所がたくさんあります。全国の皆さん、横浜でお待ちしています！

石田泰尚

■プロフィール

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から30年参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの様子は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「ららら♪クラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。2022年に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ！」を刊行。5月～9月にかけてミューザ川崎シンフォニーホールにて無伴奏から協奏曲まで様々な編成で演奏する「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜」を開催。2024年は「石田泰尚スペシャル 熱狂の夜 第2章」、11月10日に石田組で日本武道館公演が予定されている。最新アルバムは2024年4月にリリースされた『石田組 結成10周年記念 2024・春』。

使用楽器は1690年製 G.Tononi、1726年製 M.Goffriller。



■「プロデューサー in レジデンス」歴代プロデューサー

初代プロデューサー 藤木大地 (カウンターテナー/2021-2023年)

第2代プロデューサー 反田恭平 (ピアニスト・指揮者/2023-2025年)

★各プロデューサーの活動を公式WEBサイト内「プロデューサーの部屋」で紹介しています。

https://yokohama-minatomiraihall.jp/enjoy/producer_main.html

7月27日(土) 石田泰尚が率いる弦楽アンサンブル「石田組」 フラッシュモブ&ミニコンサート開催！【プロデューサー就任発表あり】

横浜みなとみらいホールでの「石田組 年末感謝祭 2024」（2024年12月31日）の開催、そして2025年4月の石田泰尚氏プロデューサー就任を記念し、クイーンズスクエア横浜（横浜市西区）にて石田組によるフラッシュモブおよびミニコンサートを行います。

ミニコンサート終了後には、石田泰尚氏本人よりプロデューサー就任について発表いたします。



「石田組年末感謝祭」 昨年の様子 ©藤本史昭

■実施概要

日時 令和6年7月27日(土)

【フラッシュモブ】10:30～10:45頃終了予定

【ミニコンサート】12:00～12:30頃終了予定

会場 クイーンズスクエア横浜 1階 クイーンズサークル（横浜市西区みなとみらい2-3）

出演 石田組（弦楽アンサンブル）

ヴァイオリン(1st) 石田泰尚、佐久間聡一、村井俊朗

ヴァイオリン(2nd) ビルマン聡平、田村昭博

ヴィオラ 生野正樹、木下雄介

チェロ 金子鈴太郎、大宮理人

コントラバス 米長幸一

曲目（ミニコンサート）

シベリウス：アンダンテ・フェスティヴァーヴォ

シルヴェストリ(松岡あさひ編曲)：バック・トゥ・ザ・フューチャー

モリコーネ(近藤和明編曲)：ニュー・シネマ・パラダイス 他

※プロデューサー就任発表はミニコンサートの終演後に行います。

主催：横浜みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

共催：クイーンズスクエア横浜イベント実行委員会 協力（撮影協力）：一般社団法人横浜みなとみらい21

※フラッシュモブ(10:30～)についての事前の情報公開・拡散はお控えください。

ミニコンサート(12:00～)については情報公開済みです。

■本件についてご取材頂ける場合は、下記担当者までご連絡ください。

横浜みなとみらいホール（公益財団法人横浜市芸術文化振興財団）

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-3-6

☎代表：045(682)2020(9:00-18:00) 広報直通：045(682)2025 pr_mmh@yaf.or.jp

広報担当：藤井聡子、飯島玲名、松本 董